

中 文 法 事 項	古 典 古 文 ・ 漢 文	文 学 的 文 章
<ul style="list-style-type: none"> ○文法を学ぶ ○文、文節、單語 ○文の組み立て ○主語、述語、修飾語、連文節 ○指示する語句と接続する語文節 	<ul style="list-style-type: none"> ○むかしむかし、うらしまは ○竹取物語 (蓬萊の玉の枝) ○故事から生まれた言葉 (推敲、矛盾) 	<ul style="list-style-type: none"> ○おれはかまきり (あきのひ) ○紙風船 (黒田三郎)
<ul style="list-style-type: none"> ○自立語とその種類 ○単語の活用 ○自立語、付属語 ○活用とは、動詞の音便 ○助詞と助動詞 ○助詞の働き、助動詞の働き 	<ul style="list-style-type: none"> ○平家物語 ○枕草子 春はあけぼの ○徒然草 神無月のころ 仁和寺にある法師 ○漢詩 春曉 絶句 黄鶴楼にて孟浩然の広陵 に之くを送る ○桂林莊雜詠 諸生に示す 	<ul style="list-style-type: none"> ○草わかば： (北原白秋) ○やはらかに： (石川啄木) ○白鳥は： (若山牧水) ○五月の雉 (藏原伸二郎) ○夕焼け (吉野弘)
<ul style="list-style-type: none"> ○既知と未知、終助詞の使い方 ○コミュニケーション ○敬語 ○既り結び 	<ul style="list-style-type: none"> ○万葉集 ○古今集 東下り ○新古今集 伊勢物語 ○おくのほそ道 三代の榮耀 ○文法と表現 ○文の組み立て ○助詞・助動詞・副詞 	<ul style="list-style-type: none"> ○葡萄食ふ： (中村草田男) ○とどまれば： (中村汀女) ○雪国や： (森澄雄) ○おりとりて： (飯田蛇笏) ○ヒロシマ神話 (嵯峨信之) ○お辞儀するひと (安西均) ○わたしを束ねないで (新川和江) ○わたりのイメージ (谷川俊太郎)
<ul style="list-style-type: none"> ○敬語 ○副詞、接続詞、感動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ○伊勢物語・東下り ○ちごのそら寝 ○絵仏師良秀 ○枕草子 土佐日記 ○十訓抄 ○漢文 唐詩 論語 ○十八史略 ○格言・成句 ○用言の活用と活用の種類 ○自立語と付属語 ○品詞 ○体言と用言 ○文語文法 	<ul style="list-style-type: none"> ○小景異情 (室生犀星) ○空をかついで (石垣りん) ○木 (田村隆一) ○ネロ (谷川俊太郎) ○短歌 斎藤茂吉、石川啄木、 北原白秋、与謝野晶子等 ○俳句 中村草田男、水原秋桜子、 山口誓子、高浜虚子、 正岡子規